

各関係機関長 様

公立大学法人 名古屋市立大学 大学院薬学研究科長
松永 民秀 (公印省略)

精密有機反応学分野 教授の公募について (依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究科では精密有機反応学分野の教授の公募選考を行うことになりました。つきましては、貴機関 (学部、大学院、研究機関) および関係方面に適任な候補者がおられましたら、下記の要領でご応募頂きたく、周知方お願い申し上げます。

敬具

記

- 所 属 : 精密有機反応学分野 (分野の名称は着任後適当な時期に変更可)
- 専門分野 : 創薬を指向した有機化学
- 担当科目 : 精密有機反応学特論、創薬生命科学科目の講義(大学院)、有機反応化学、ケミカルバイオロジー、生物有機化学の講義および化学系実習(学部)他
(このほか6年制薬学教育にも携わっていただきます。)
- 応募資格 : 博士の学位を有していること。
- 着任時期 : 令和 4 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 : 本研究科所定の書式による以下の応募書類(1)~(5)の印刷物一部を郵送し、それらの電子ファイルを下記メールアドレス宛に (パスワードを付けること) 提出してください。パスワードは別メールで送ってください。なお、電子ファイルの容量が 10 MB を超える場合には受信できないため、必ず圧縮して送信してください。
*メールタイトルに「名古屋市立大学大学院薬学研究科精密有機反応学分野教授応募」と記載してください。
*指定様式は薬学研究科ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/> からダウンロード可
- (1) 履歴書 (指定様式) (連絡先の電子メールアドレスを明記)
 - (2) 業績目録 (指定様式) (取得された特許等の知的財産も含みます。過去 10 年間に省庁、財団などから代表者として受領された公的研究助成の研究課題と助成金額 (直接経費のみ) も併せてご記入下さい)
 - (3) 主要な原著論文 5 編程度 (PDF 形式)
 - (4) 主な業績の要約と今後の抱負 (A4 用紙 3 枚以内)。ご自身の研究と教育の抱負に加えて、薬学教育全般にわたる展望もお書き下さい。
 - (5) 推薦状 (自薦も可。ただし、問い合わせできる方の連絡先を記載のこと)
- 応募締切 : 令和 4 年 5 月 20 日 (金) (郵便書留にて必着のこと)
- 選考方法 : 書類選考後、必要に応じて面談・プレゼンテーションをお願いする場合があります

す。なお状況によりインターネットを利用した面談等となることがあります。
名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、業績と能力が同等なら女性を積極的に採用します。

書類提出先：郵送先住所

〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通 3-1

名古屋市立大学大学院薬学研究科長 松永 民秀

(封筒に、「精密有機反応学分野 教授応募書類在中」と朱書して下さい)

電子ファイル提出先：jimusitu@phar.nagoya-cu.ac.jp

電話（事務室） 052-836-3402

FAX（同上） 052-834-9309

ホームページ <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/>

その他

- 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません（選考終了後に、適正に廃棄します）。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を同封して下さい。